

ハートフル映画&講演会

入場
無料

参加申込不要

字幕、手話通訳、要約筆記あり

当日受付先着順

映画
上映

お終活

熟春!人生、百年時代の過ごし方

大原真一（橋爪功）と千賀子（高畑淳子）は、来年には結婚50年を迎える熟年夫婦。定年退職して10年近く経つ真一は典型的亭主閣白で、妻の千賀子とは事あるごとにすれ違い、夫婦喧嘩ばかりの日々を送っている。千賀子も頭の固い夫のことは相手にせず、趣味の健康コースでストレス発散の毎日だ。同居する独身の娘・亜矢（剛力彩芽）はどちらかというと千賀子の味方。真一のイライラは募るばかりで、友人の麻雀仲間たちと、妻に対する愚痴を言い合っている。

そんな折、娘の亜矢は自分が営むキッチンカーの客で、葬儀社に転職したばかりの菅野（水野勝）と出会う。菅野から終活フェアに誘われた亜矢は母親の千賀子に行くことを勧める。そこで菅野の上司でもあり一級葬祭ディレクターでもある桃井（松下由樹）から最新の終活情報を得た千賀子は前向きに今後のことを考えようとするが、真一は縁起でもないと嫌がり、新たな危機が生まれる。亜矢や桃井を巻き込んだ、大原夫婦の“お終活”的な展開が描かれる。（2021年／日本／113分）

講演

創作落語『天国からの手紙』 ～いつまでも自分らしく生きるために～



講師 いくしま きよみ
生島清身(天神亭きよ美)さん
(行政書士・社会人落語家)

大阪市出身、2015年8月より東京在住。
秘書業務、インターネット関連業務を経験後、41歳で不妊治療をスタート。仕事を休業し治療に励む傍ら着物好きが高じNHK朝ドラ「ちりとてちん」の影響もあり本格的に上方落語を勉強。繁昌亭落語家入門講座修了時に高座名「天神亭きよ美」を授かる。その後、行政書士試験に合格し行政書士事務所を開業。不妊治療を通して生命誕生の神秘に気づき、相続業務を通して本当に大事な物は何かについて考えたことを形にするべく遺言をテーマに家族や人生について考える落語「天国からの手紙」を創作。2011年より落語を交えた笑って学べる終活関連講演を各地で行う。（朝日・読売・毎日・産経各紙面、NHKニュースで取り上げられる）

©2021「お終活」製作委員会

令和6年 1月20日(土)

時間 13時から16時30分まで(12時30分より受付開始)
会場 山陽新聞社本社ビル1階 さん太ホール
(岡山市北区柳町二丁目1-1)

プログラム

●開会	13:00~
●講演	13:10~
●休憩	14:10~
●映画上映	14:25~
●閉会	16:30

公共交通機関ご案内

- JR岡山駅より徒歩15分(市役所筋を南へ下る)
- JR岡山駅より路線バスにて「山陽新聞社前」下車すぐ

ふれあい交流ショップ

福祉関係のお店が素敵なグッズやお菓子などを販売します。



- 入場は**当日受付先着順**です。会場の定員(300人)を超えるときは入場をおことわりする場合があります。あらかじめご了承ください。
- 日程・内容については、諸般の事情により変更となる場合があります。
- 状況に応じて、会場内でのマスクの着用・咳エチケットにご協力ください。

主催 岡山市・岡山市教育委員会 後援 岡山県 協賛 岡山人権啓発活動地域ネットワーク協議会

お問い合わせ先

岡山市市民協働局 人権推進課

電話 086-803-1070(直通) フax 086-225-1699 Eメール jinkensuishin@city.okayama.lg.jp

人権推進課
Facebook

イベントや各種情報を
掲載しています

